

## 凸版印刷、ブランドマーケティング事業において NEW STANDARD と協業

MZ 世代をターゲットとした、顧客起点でアジャイル型ブランディングを実現する  
マーケティングサービス開発を目指し、資本業務提携を締結

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、NEW STANDARD 株式会社(東京都 世田谷区、代表取締役社長:久志 尚太郎、以下 NEW STANDARD)と2023年6月30日に、資本業務提携(第三者割当増資で出資)を締結しました。

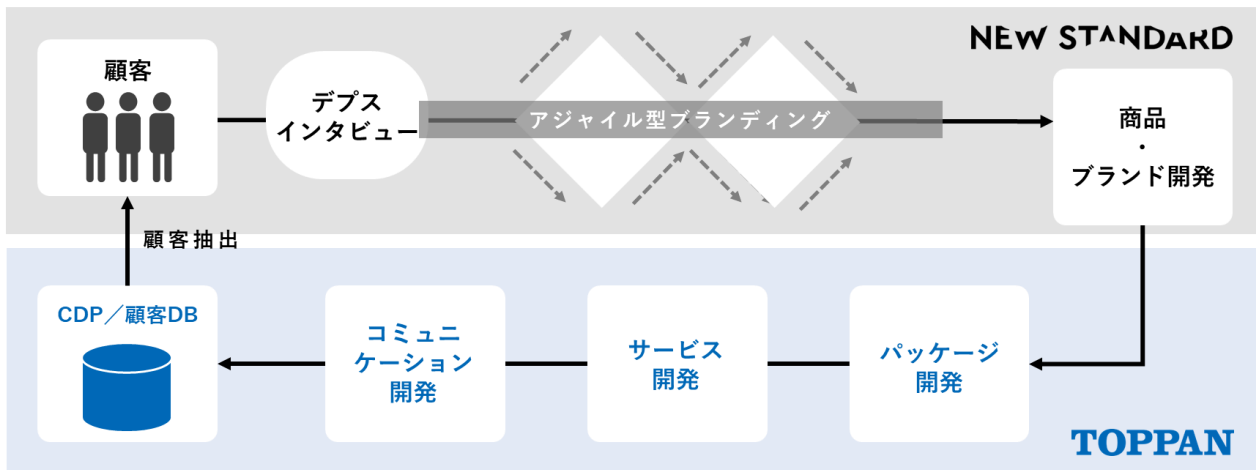
凸版印刷は、「データの価値化」をコアバリューに、顧客企業の課題解決を実現するダイレクトマーケティング、CRM サービス、デジタルマーケティングへと事業を成長させてきました。サービスや組織強化を続け、専門人財を拡充し、知見を蓄積。現在は企業の経営課題に対応したビジネス変革(ビジネストランスフォーメーション、以下 BX) 支援事業として推進しています。

NEW STANDARD は、「この世界は、もっと広いはずだ」をコーポレート・ステートメントに、オリジナルの AI ツールとデザイン思考などを活用したブランド開発およびマーケティング事業を展開しています。

本提携において、凸版印刷の BX 支援事業における様々な技術と NEW STANDARD のテクノロジーと知見を融合し、ブランドマーケティング領域で新たなサービス開発を目指します。

## TOPPAN × NEW STANDARD

顧客起点でアジャイル型ブランディングを実現するマーケティングサービス開発を目指し協業



### ■ 協業の背景

近年、企業のマーケティング・プロモーション活動において、データによる顧客理解とそれによるコミュニケーション設計・顧客体験向上の重要性が増してきています。中でも、ブランドマーケティング領域において顧客ターゲット層が MZ 世代(※1)である場合、生活環境や価値観などの変化により旧来型の施策が通用しづらく、新たなコミュニケーション手法が求められるようになってきています。

凸版印刷は BX 支援事業における「データの価値化」をコアバリューに、DX に加え CX(顧客体験変革)と EX(従業員体験変革)を統合支援し、企業のビジネス変革を伴走するケーパビリティとノウハウを有しています。

一方、NEW STANDARD は、AI キュレーションツールおよびWebメディア「TABI LABO」により蓄積された、MZ世代を中心とする顧客データベースとトレンド情報、オリジナルの AI ツールおよびデザイン思考を用い、アジャイル(※2)型での「新しい価値(イミ)」創造と、ブランド開発やコミュニケーションを設計する知見を有しています。

本提携では、これら両社の知見・技術を融合させ、MZ 世代をターゲットとし、顧客起点でアジャイル型ブランディングを実現する新たなマーケティングサービス開発を目指します。

## ■ 協業の概要

### ・デザイン思考を活用したブランド開発およびマーケティングサービスの開発

デザイン思考プロセスに、企業が保有する顧客データを活用することで、自社の顧客理解を深め、企業・商品・サービスの開発とブランディングおよび最適なコミュニケーション施策を設計・開発する方法論をサービスとして展開することを目指します。

### ・MZ 世代のユーザートレンドレポートの定期発行

メーカー・流通・金融など、産業別 MZ 世代の顧客インサイトやトレンドリサーチをコンテンツ化・レポートとして発行し、レポートを活用したセミナーやワークショップなどのサービスを展開することを目指します。

### ・オリジナル AI ツール開発

NEW STANDARD が保有する AI キュレーションツールやユーザーインタビューを実施する既存ツールをベースに、本提携によるブラッシュアップや OEM 版の開発などを検討します。

## ■ 今後の展開

凸版印刷と NEW STANDARD は、双方の知見・技術を掛け合わせたサービス開発を推進し、2023 年度中にブランドマーケティング領域で、新規サービスの市場投入を目指し、2026 年 3 月までに 50 社へのサービス提供を目指します。また、凸版印刷は本提携により、サービス向上と顧客体験設計の技術向上を実現し、ブランドマーケティング領域で競争優位性の確立を目指していきます。

### ※1 MZ 世代

ミレニアルズ/Z 世代の略称で、1980 年～2010 年頃にまでに生まれた層の人たちを指す。

### ※2 アジャイル

「素早い・機敏な」という意味で、開発・制作などのプロセスにおいては、仕様や設計の変更があることを前提に進め、徐々にすり合わせや検証を重ねていくアプローチを指す。

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上